

R6. 9. 2 3年部学年研

# 仲間と対話

指導案づくりは、一人で抱え込まずに、仲間にとんとん相談し合おう。違う視点からアドバイスをし合うことは、高め合うこと。学級の仲間との対話を大切に。





R6. 9. 2 給食指導の様子

# 記録することを習慣化

給食指導もやりっぱなしではなくて、気付いたことをすぐにメモする。記録に残すことを習慣化することは、児童の見取りや評価に必ず役立つはずです。





R6. 9. 2 | 1年部学年研の様子

# 目標を飾りにしない

自分の個人目標で立てたことが、できていたかどうかをしっかりと振り返る。目標を立てて終わりにせず、できたかを確認し、生かそうとする大切な姿です。









R6. 9. 2 5年部チャレンジ授業

# やってみよう

誰でも、はじめてすることは、不安がいっぱい。でもやらないことには進まない。とりあえず、失敗してもいいから「やってみよう」。きっと何かが見つかるよ。





R6. 9. 2 5年生授業

# 見取る、聴き取る、感じ取る

俯瞰して眺めるだけでなく、子供の側に寄って、姿を見取ったり、つぶやきを聴き取ったりして、子供の考えていることや思いを感じ取る。児童の理解の第一歩。





R6.9.2 本実習オリエンテーション

# リスタート

いよいよ本実習スタート。もう一度、自分の実習での目標を確認して、何をすべきか考える姿にやる気を感じます。3週間、日々実践を積み重ねていきましょう。





R6. 9. 2 給食準備の様子

# 確認を怠らない

給食指導中、先頭を歩きながらも、ちゃんと後ろの子供たちの運ぶ様子を確認する。子供たちの安全を大切にしたい、丁寧な指導はきっと他でも役立つでしょう。





R6. 9. 3 5年部道徳の授業の様子

# 積み上げる

観察実習でのチャレンジ授業の経験を生かして、授業をやってみる。しっかりした振り返りをしたことで、前回の経験に積み上げることができていました。





R6. 9. 3 朝休みの様子

# 対話力

児童理解の手立ての一つに対話があります。積極的に子供たちに話かけてみましょう。まずは何を話すかよりも何人と話しができたか挑戦してみてください。



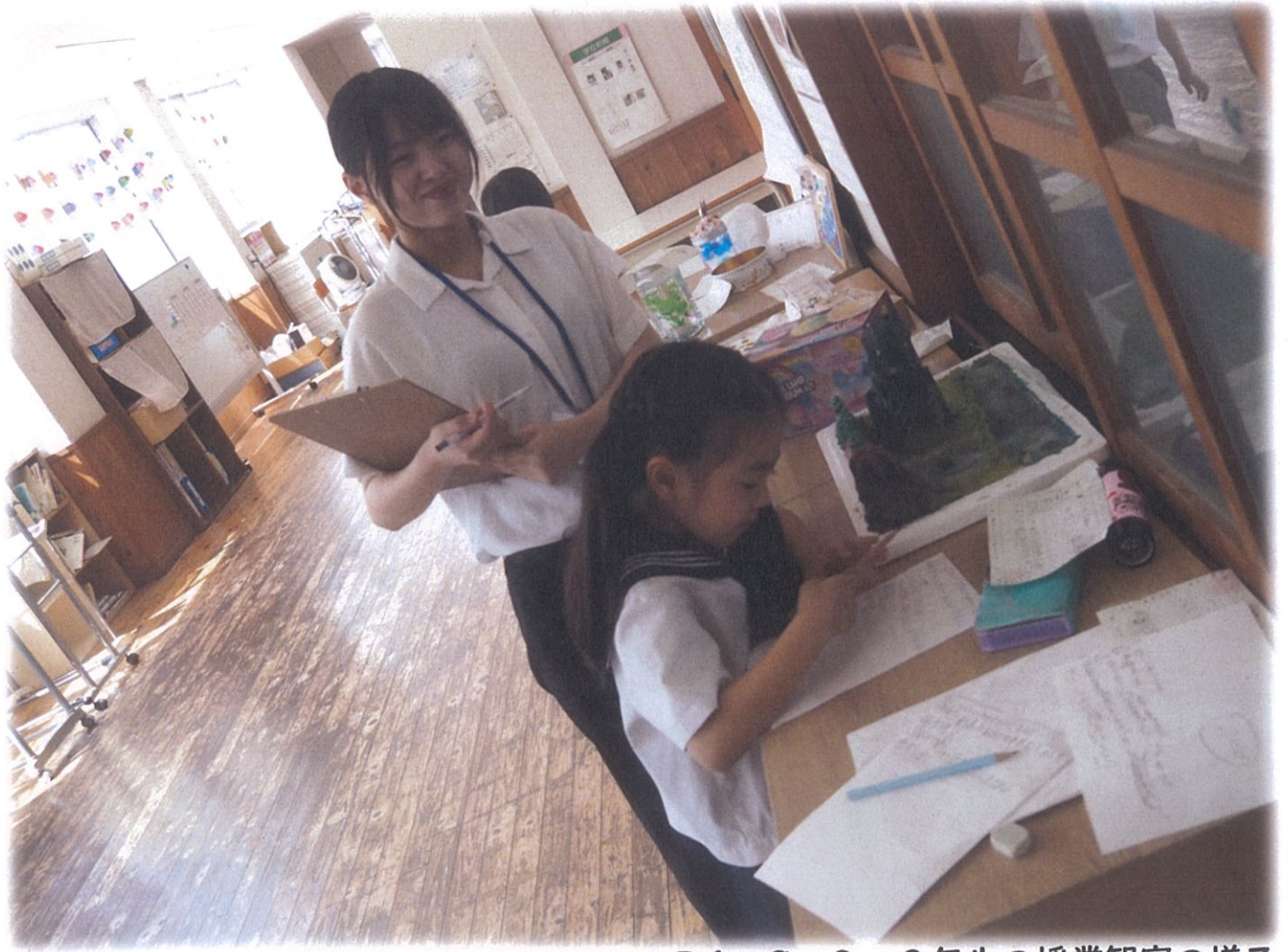


R6. 9. 3 2年部教材研究

# 安全配慮

図エでカッターの正しい使い方をマスターできるように、有効な手立てを考える。単元の導入で、ここを大事にすることが、後々の授業でのケガの防止につながる。





R6. 9. 3 2年生の授業観察の様子

# 好奇心

子供たちがどんなことに興味を持っているのか？何を考えているのか？好奇心を持って、子供の側にいってみる。あなたはどんな新しい発見ができるかな？





R6. 9. 3 4年部学年研の様子

# 吸収力

担当教諭の話をスポンジのような柔らかさで全て吸収しようと熱心に聴く。現場の教師の話は、この実習でしか詳しくは聴けない。どれだけ吸収できるかな？





R6. 9. 4 6年生国語の授業

# 演技力

二つの感じ方の違いを理解できるように、オーバーアクションを交えながら、デモンストレーションをする。教師には演技力も必要ですね。





R6. 9. 4 2年部道徳の授業

# 自分事

授業の中で考えることに関して、事前アンケートで、子供たちの実態を明らかにする。教材の内容と自分をつなぎ、自分事として思考するための大切な導入。





R6. 9. 4 中休みの様子

# 心の距離を縮める

休み時間、子供たちと一緒に遊ぶ。楽しい時間を共有することで、子供たちとの心の距離はグンと縮まります。積極的にどんどん遊んでいきましょう。





R6. 9. 4 キラキラ掃除

# 課題を一つ

掃除の振り返り指導。よかった姿を価値づけることにプラスして、課題を一つ伝えていました。さらなる掃除のレベルアップに向けた指導でした。





R6. 9. 5 3年生道徳の授業

# 子供に注目

子供の発言を座席表にメモをする。発言だけでなく、つぶやきや行動にも注目して記録に残す。自分が授業をする上でも、子供の様子を見逃さないことに繋がる。





R6. 9. 5 3年部学年研の様子

# 試す

授業がどうなるかを確認するために、シミュレーションをしてみる。何事も事前にやってみることで、流れや時間配分、発問、板書の仕方を掴むことができます。





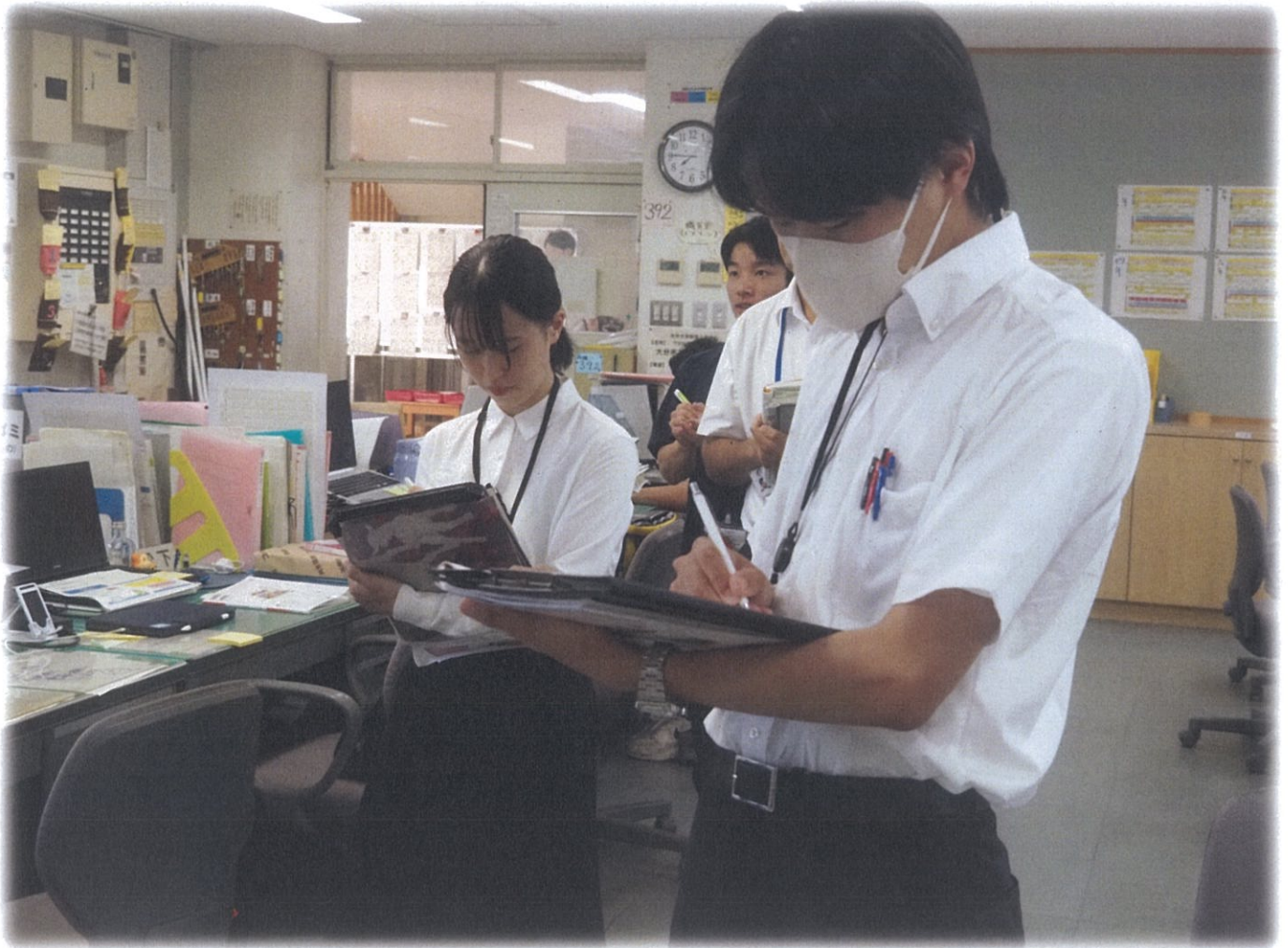
R6. 9. 5

3年部道徳の授業

# ICT活用

授業の中に積極的に1人1台端末を活用する。子供たちの思考を深めたり、広げたりするために、効果的な活用方法を考え、どんどん取り入れていきましょう。





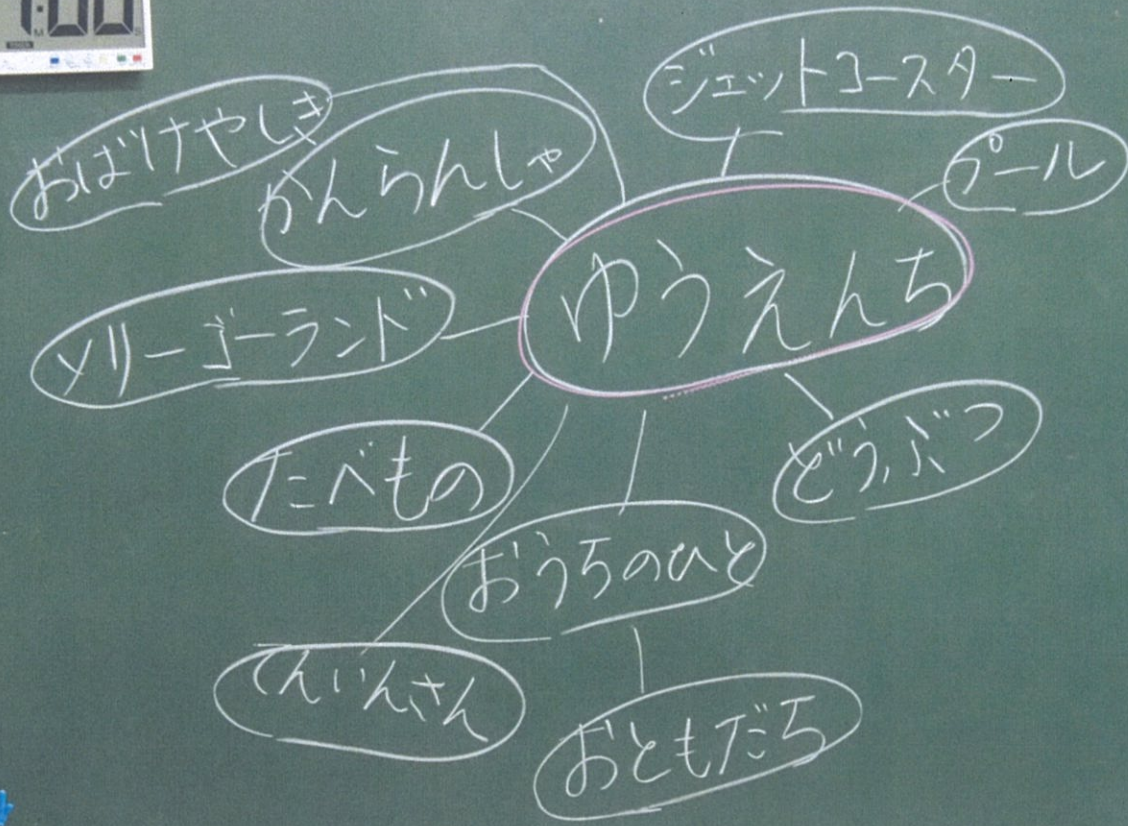
R6. 9. 5 朝出勤後の様子

# 担任業務

職員室のホワイトボードを確認。教師の仕事は、授業以外にもあります。実習でしか学べない担任の仕事を経験する。採用後に役立つ学びが得られるはずです。



4:00

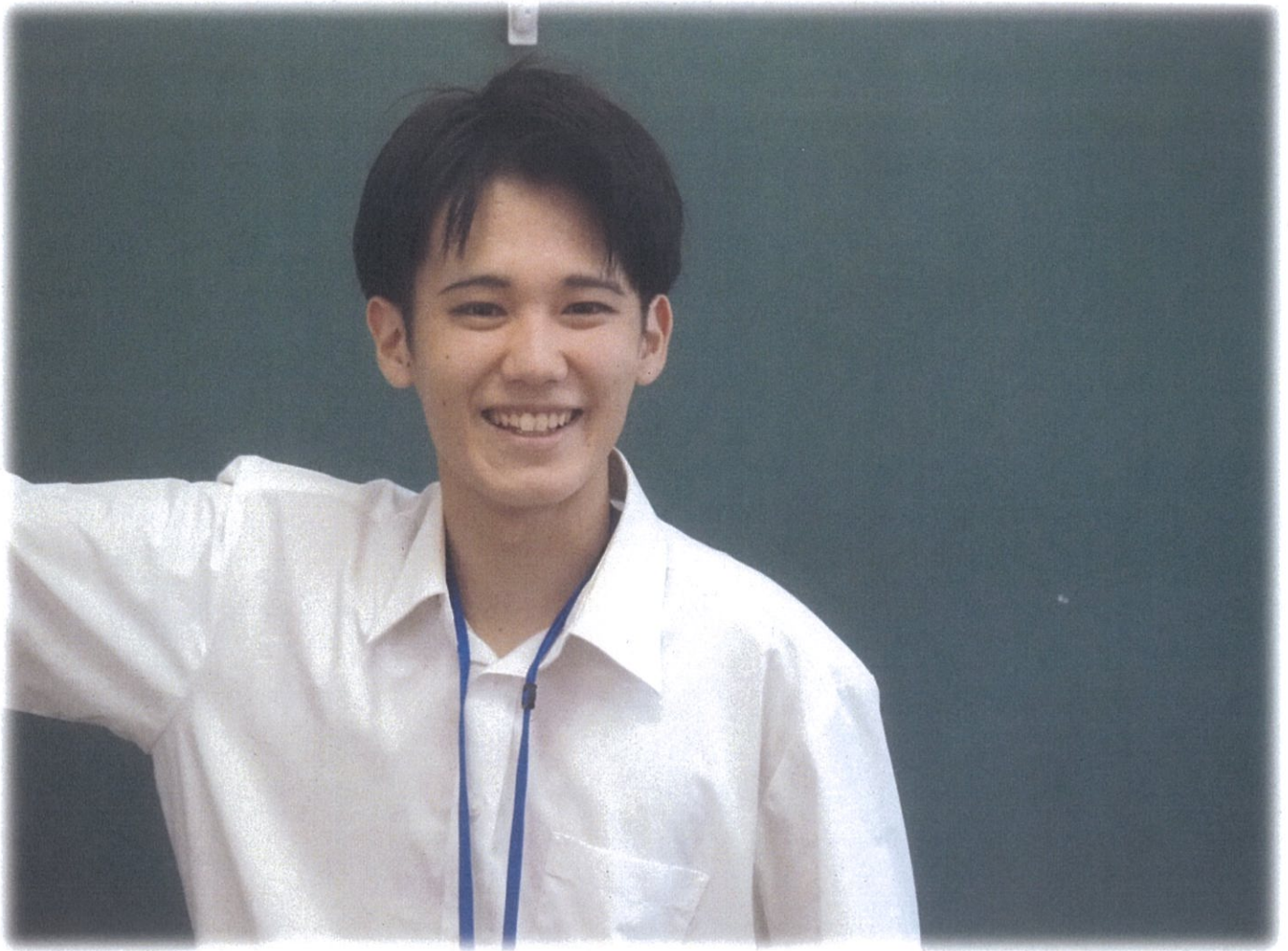


R6. 9. 5 | 1年部図工の授業

# 思考を広げる

ウェビングマップで子供たちの思考を可視化し整理することで、子供たちの作りたい物のイメージが広がり、創作意欲の向上につながっていました。





R6. 9. 5 1年部図工の授業

# Smile

授業する上では、雰囲気づくりも大切。先生が明るく元気よい笑顔は、安心感を与えます。子どもたちの学習意欲のアップにも繋がっていました。





R6. 9. 5 予告なし避難訓練

# 命を守る

子供たちが、自分で命を守るための考動  
ができているかを確認。子供の命は何よ  
りも大切なもの。日頃から安全に対する  
意識を高めて、指導に生かしましょう。



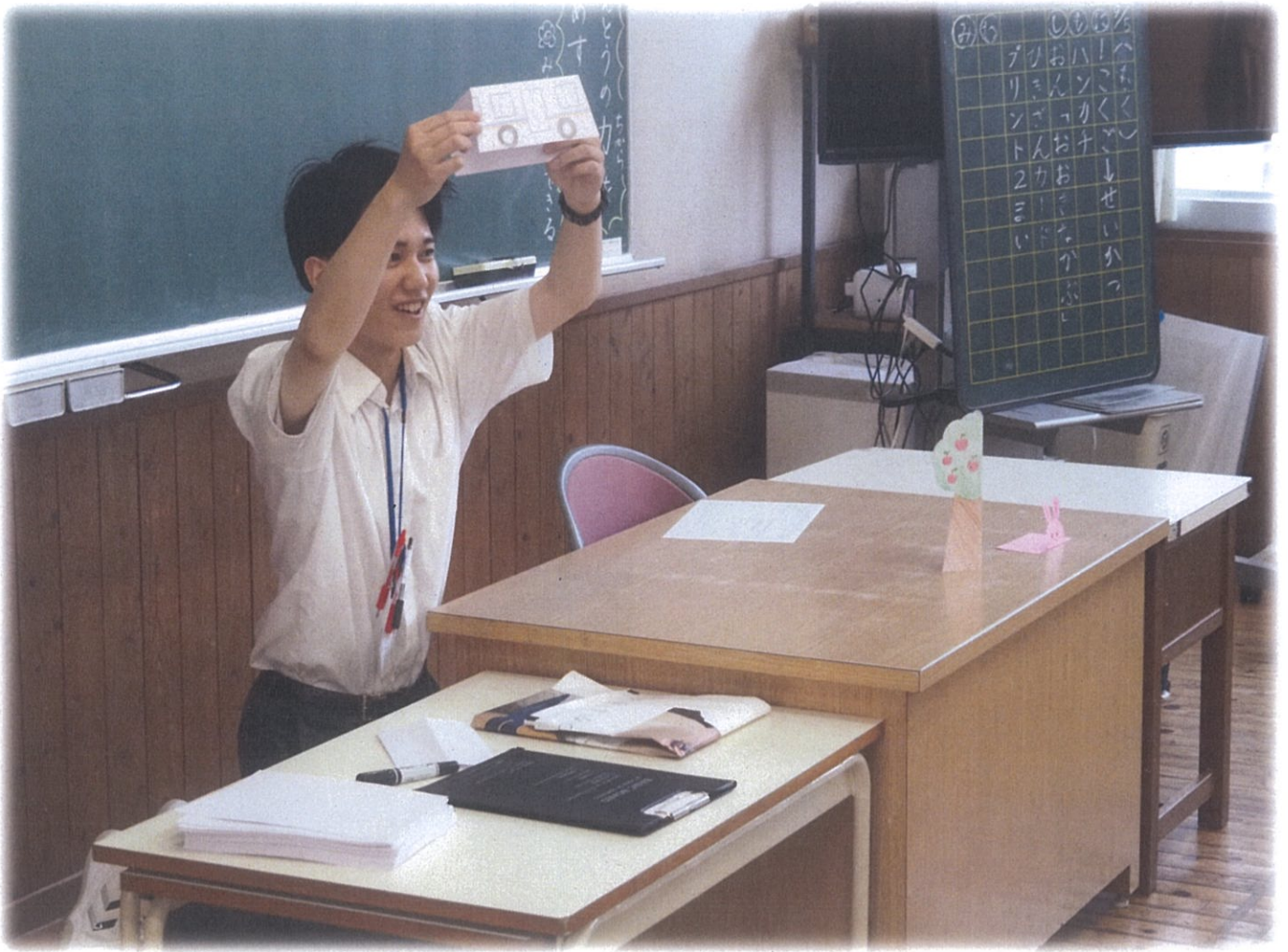


R6. 9. 5 4年部学年研

# 全集中

真剣な眼差しで、担当教諭の話聴く。一言も聴き漏らすまいと、全集中で聴く姿。きっと、次の授業では、聴いた話が活かされることでしょう。





R6. 9. 5 | 1年部図工の授業

# モデル

どんな作品を作るのかを子供たちがつかめるように、モデルを準備する。実際に見て、子供たちのイメージは大きくふくらみ、意欲も倍増。教材研究の成果。





R6. 9. 5 3年生道徳の授業

# 一歩一歩

チャレンジ授業と比べてどうだったかを振り返る。きっと成長した所があるはずです。焦らず一歩一歩着実に行くことが大切です。必ず前に進むのだから。





R6. 9. 6 キラキラ掃除

# 違いを見つける

昨日と今日の掃除の違いを見つけて、振り返りで伝える。具多的な変化を話すことで、成長を実感することができてとても分かりやすい価値づけでした。





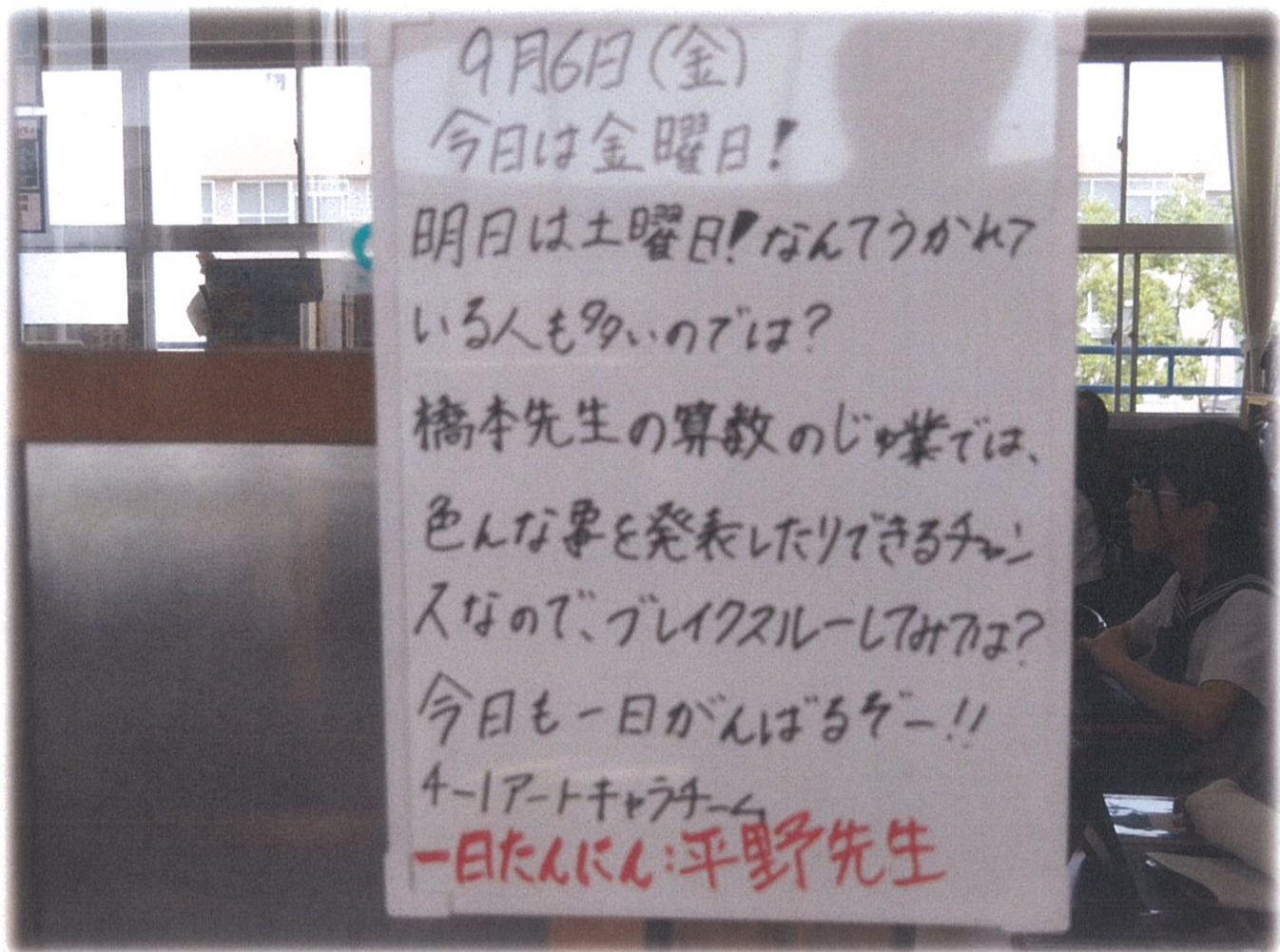
R6. 9. 6

5年生算数の授業

# 日々努力

授業の準備と実践、振り返りを繰り返す。  
日々努力を積み重ねていくことで、自分の力は確実に上がっていきます。努力は無駄にはなりませんね。





R6. 9. 6

4年生の教室の様子

# 思いを伝える

ホワイトボードを活用し、担任としての  
思いを子供たちに伝える。メッセージを  
可視化でき、子供とつながることができ  
るナイスなアイデアですね。





R6. 9. 6

5年生体育の授業観察

# 学ぶことは多い

「学ぶことは多いから楽しい」という発言に、実習を前向きに捉えているのを感じます。できるだけたくさん学びを持って帰れるように頑張ってください。





R6. 9. 6 キラキラ掃除

# あたたかい眼差し

困っている子の側に寄り添う。自分でできることには手を出さず見守っている。そのあたたかい眼差しから、子供たちを大切にしようとする思いが伝わります。





R6. 9. 6 6年生国語の授業

# 問題意識

効果的な導入部分の工夫。子供たちに問題意識を持たせ、自分事として考えることができるように、実際にありがちなSNSの場面で提示する。





R6. 9. 6 6年生朝の会

# 明朗快活

1日担任、朝の会で子供たちへ話をする。  
元気いっぱい、明るい笑顔で語り掛ける  
ことで、一日を気持ちよくスタートでき  
ます。朝の雰囲気作りは大事ですね。





R6. 9. 6 3年生外国語活動

# 積極的アプローチ

子供たちの考えを見取るために、できるだけ近くにいく。アクティブに自分からいくことで、子供の発想の豊かさや困りなど多くの発見ができるはずです。





R6. 9. 6 3年生教材研究

# 試行錯誤

授業に向けて、仲間と議論しながら、指導案を作る。試行錯誤を繰り返しながら、子供たちにとってよりよい授業になるように考える。現場に出ても同じです。





R6. 9. 6 | 1年生国語の授業

# 日々全力

子供たちと真剣に向きあって授業に取り組む。うまくいったこといかなかかったこと、全力で挑戦した経験は、全て次に繋がりに、必ず自分の力になります。





R6. 9. 6 3年生外国語活動

# デモンストレーション

実際にやり取りの様子を子供たちとやってみせる。繰り返しやってみせることで、子供たちも、授業の中で使っていくSentenceなどをつかんでいけました。





R6. 9. 9 | 1年生国語の授業

# 元気ハツラツ

よく通る声でハキハキとしゃべる。明るく元気いっぱいの子供たちに接する姿は、気持ちのよいものです。子供たちが授業に取り組む意欲にも関わってきます。





R6. 9. 9 5年生国語の授業

# 発想力を磨く

方言のおもしろさを感じ、興味を持つことができるように「方言クイズ」をする。子供の関心や意欲を引き出すアイデアをいろいろ工夫してみましよう。





R6. 9. 9 6年生教材研究

# 練る練る練る

授業に向けて、仲間と相談をしながら、何度も指導案を作り直す。指導案はベテランの教師でも何度も書き直すものです。練って、練って、練り上げてください。





R6. 9. 9 中休みの様子

# 思いっきり遊ぶ

休み時間、子供と思いっきり遊ぶ。遊びの中でこそ、見えてくることがあるはず。何よりも子供と遊ぶことを楽しむことができるのは教師の大事な資質の一つです。





R6. 9. 10 職員室前のかご

# 減った量＝学びの量

板書指導案や授業記録の用紙が、どんどん減って、増刷りしないといけなくなる。多くの学びが蓄積されている証拠。この記録が現場に出た時の財産になる。





R6. 9. 10 3年生学年研

# 白熱の授業づくり

子供に一番考えさせたいことを検討する。「何をどう考えさせていくのか」みんなで見解を出し合う。思いを語り合う姿に授業づくりへの真剣さが伝わります。



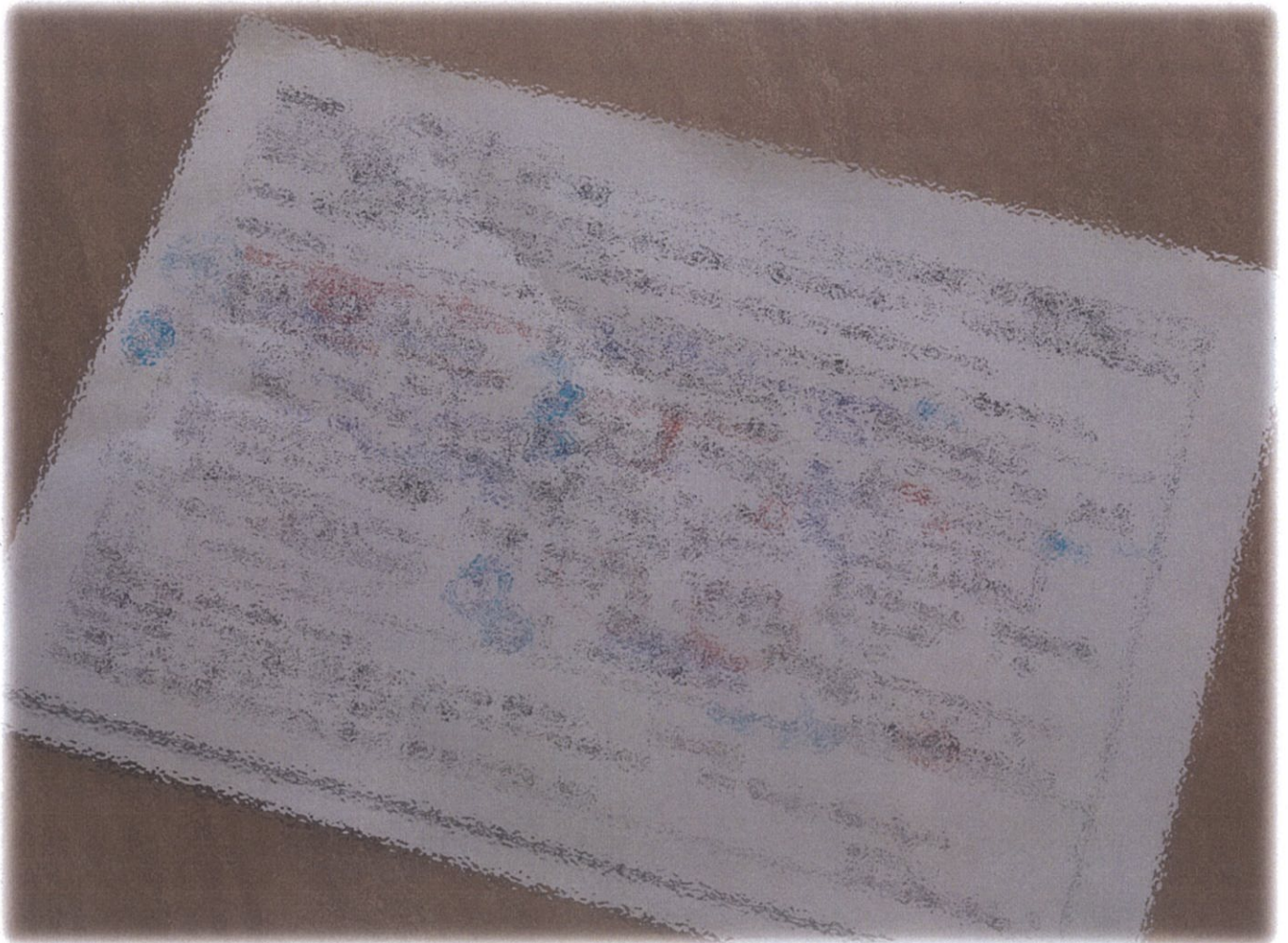


R6. 9. 10 6年生の国語授業

# TRY

自分で練った板書指導案をもとに、授業に挑戦する。うまくいったこといかなかったことを振り返り、次の授業改善に繋げる。Let's try!!





R6. 9. 10 4年生算数の授業

# 書き込む

授業準備を丁寧にする。板書指導案に自分の発言の予定を色ペンで書き込んだり、展開を予想した細案を作ったりすると自分がねらうことが明確になります。





R6. 9. 11 チーム遊びの様子

# 参加者になる

6年生の企画したゲームと一緒に楽しむ。参観者でなく参加者になることで、又違う視点からの気づきや学びがあったことでしょう。





R6. 9. 11 給食指導の様子

# 躊躇無く指導

子供にとって必要なら、躊躇無く指導をする。愛情があれば、子供たちには伝わります。大切なことを伝えることも、優しさですよ。





R6. 9. 11 給食の時間

# 給食は食育の時間

給食の時間は食育の時間。準備から片付けまで、視点を持って子供の様子を見取りましょう。食べてる様子も時々見てみると、また大切なことが分かりますよ。





R6. 9. 11 4年生フリートーク

# 自分を語る

フリートークのお題について、自分のエピソードを語る。子供たちも楽しみにしてるし、コミュニケーションのきっかけにもなります。思い切ってチャレンジを。





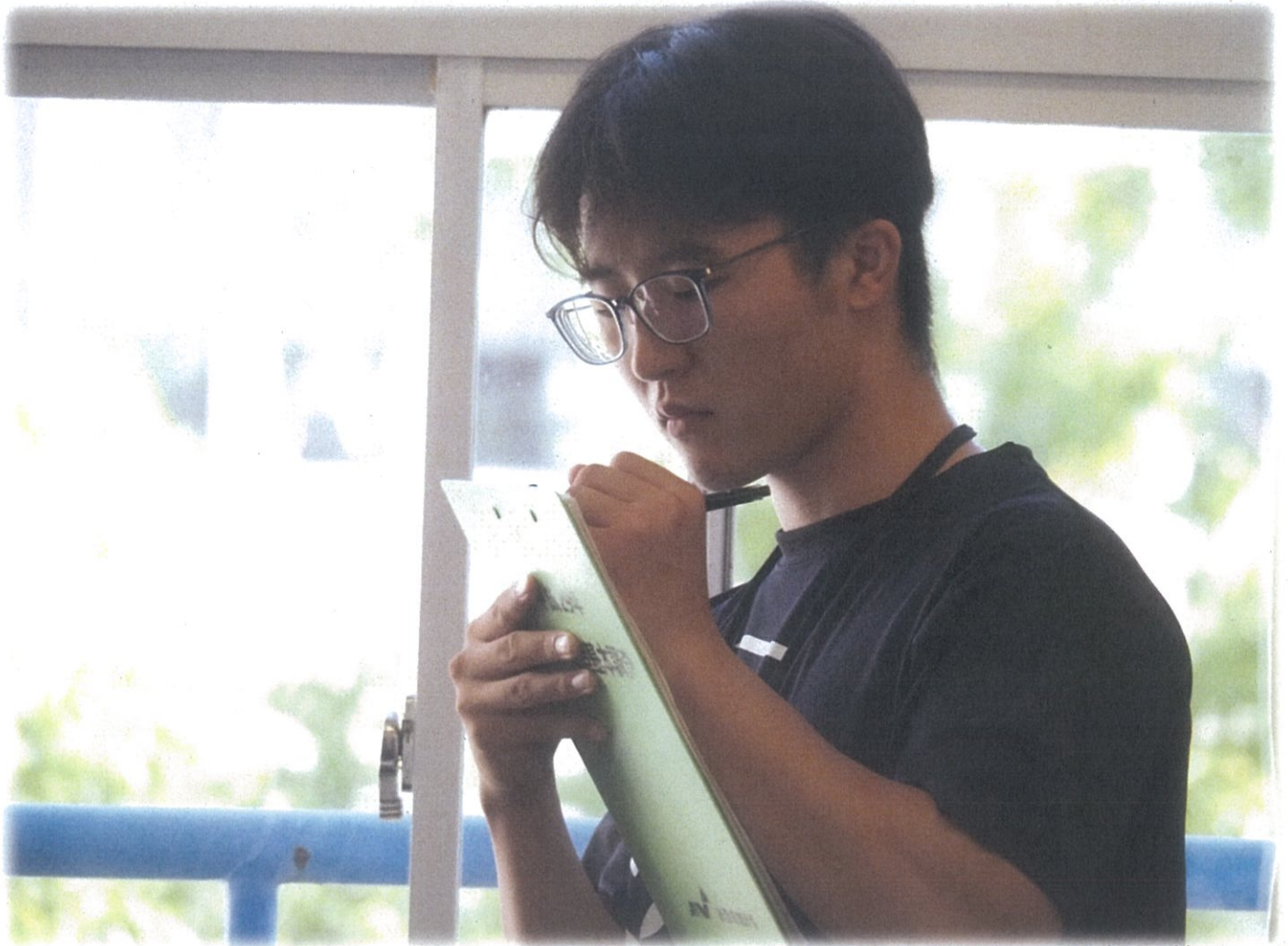
R6. 9. 12

2年生算数の授業

# 必然性

「折ることができなければ、どうやって四角形を調べられるのか？」条件を狭めると考える必然性が生まれます。すると子供たちの本気の思考が始まるのです。



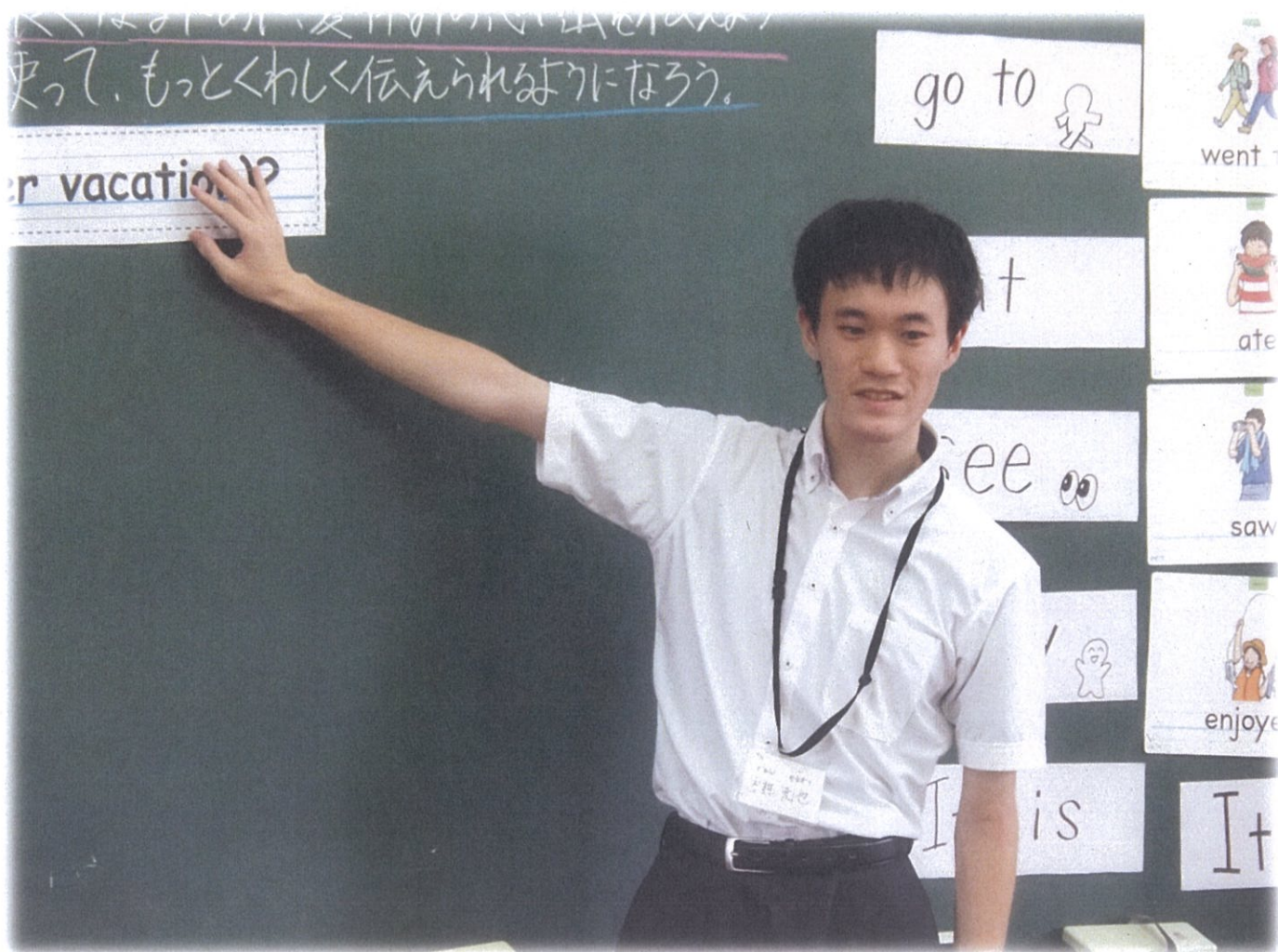


R6. 9. 11 4年生算数の授業

# 参観でなく観察

授業参観でなく授業観察。子供たちの言動をメモしていく量がどんどん増えてきました。視点を持って、授業に臨むとまた違う見取りができると思います。





R6. 9. 11 6年生外国語の時間

# Classroom English

外国語で、積極的に Classroom English を使いながら授業を進める。教師から子供たちに英語を自然に浴びせることは、慣れ親しむことにつながります。





R6. 9. 11 4年生社会の授業

# 課題にこだわる

ただ調べるのではなく、課題に合わせて  
目的を明確して調べるように話す。子供  
もしっかりと授業のねらいに向かって、  
ぶれずに考えることができます。





R6. 9. 11

3年生国語の授業

# レベルアップ

授業を繰り返し行う中で、できるようになったことも増え、今まで気が付かなかったことにも目が向くようになりました。着実にレベルアップをしています。





R6. 9. 11 6年生外国語の授業

# 自分の魅力

一人一人の個性は子供だけでなく大人も  
発揮して欲しいです。自分の魅力につい  
て見つめ直し、積極的に子供たちに発信  
していきましょう。



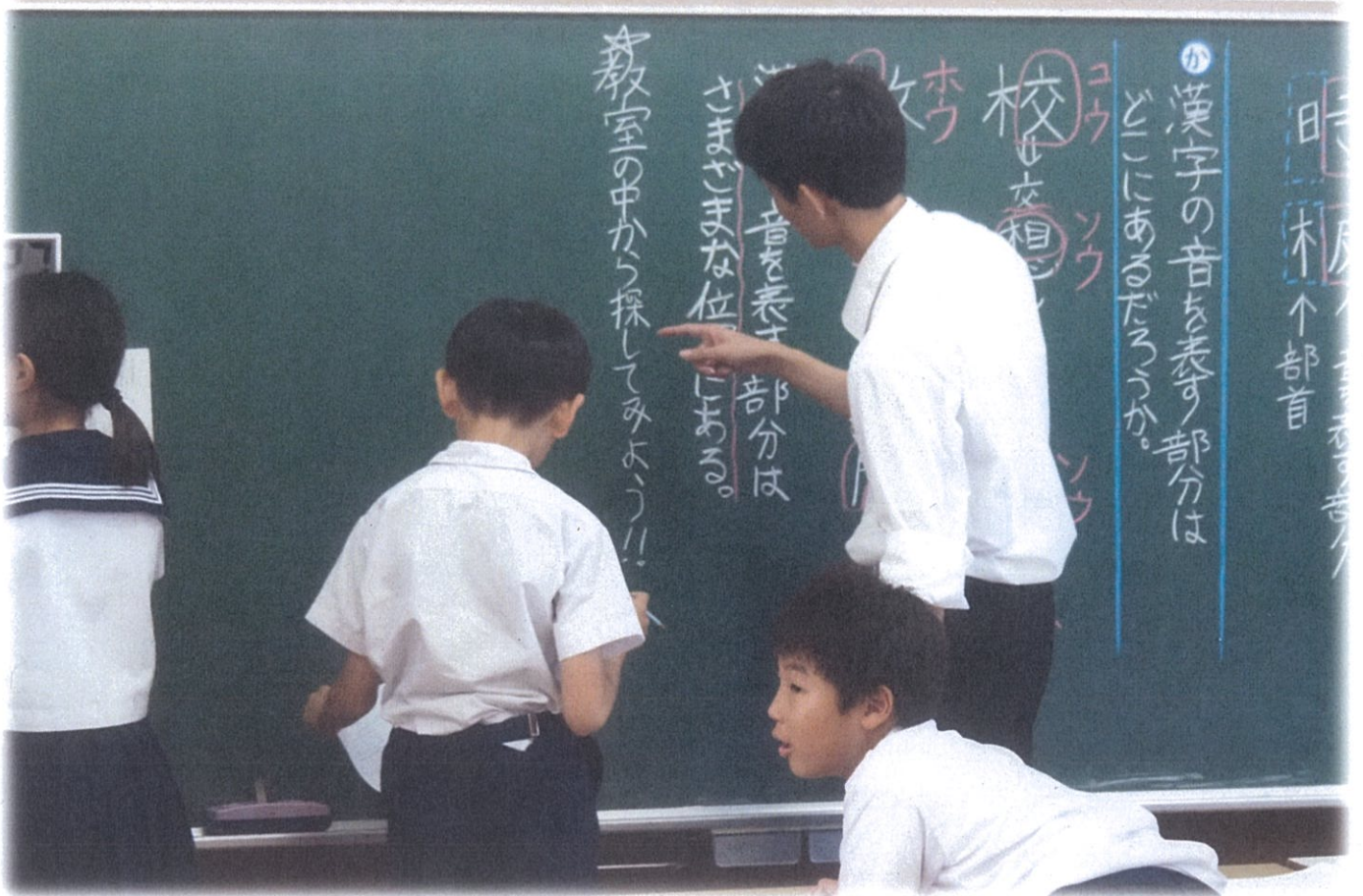


R6. 9. 12 職員作業の様子

# 職員作業

教員の業務は、授業や学級経営だけではなく、子供たちが安全・安心に活動ができるために、見えないところでもする仕事があります。暑い中、お疲れ様でした。





R6. 9. 12

4年生国語の授業

# 自由に動いて

席を離れて自由に動きながら、教室の中にあるものを探す。子供たちの考えを交流する時などにも使える、有効な手立てです。



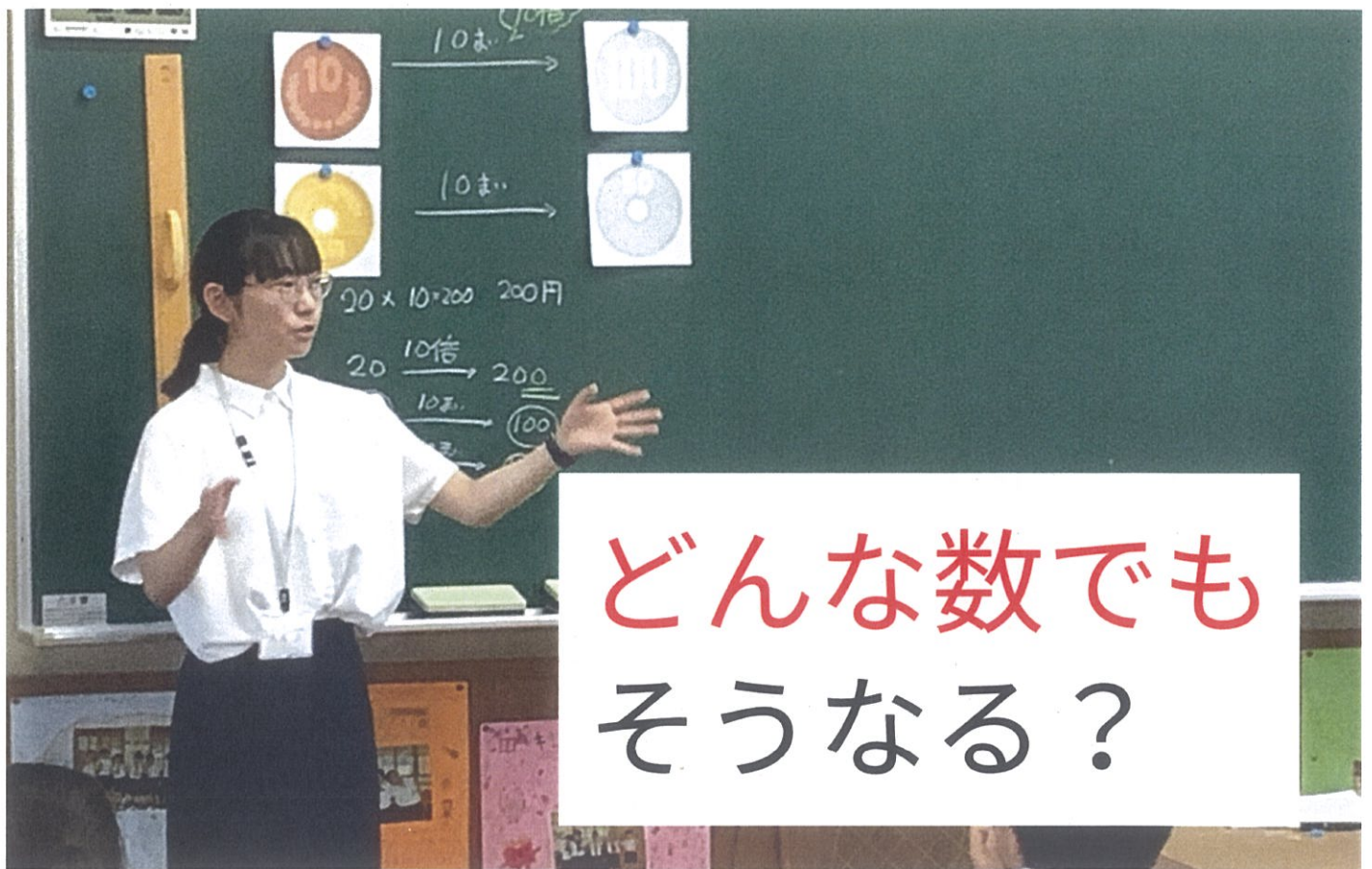


R6. 9. 12 4年生の学年研

# 同僚性

学年授業に向けて、仲間と一緒に授業づくりをいろいろな意見を出し合いながら進めていく。これぞ同僚性。一人で抱え込まず、みんなで協力することが大切です。





# 揺さぶる

あえて子どもたちの考えをすぐに受け入れず、「本当に？」等と揺さぶることも、子どもの意欲を高める一つの方法です。





R6. 9. 12 3年生算数の授業

# 子供の関心を引く

大きい数に興味を持たせるために2台の自動車の写真を提示する。問題に注目できるようにするよい手立てでした。子供たちの意欲も高まっていました。





# 子どもに決めさせる

「〇〇でやってみよう！」でなく、子どもに課題を解決するための方法を選ばせ、決定させることも、子どもの意欲を高めたり、資質・能力の育成につながります。





R6. 9. 13 4年生国語の授業

# 元気な笑顔は潤滑油

元気いっぱいの笑顔で授業をする。先生が、楽しくしているのもので、子供たちも楽しく授業に取り組んでいました。積極的に問題に挑戦する意欲が湧いていました。





R6. 9. 13 2年生国語の授業

# 目的ある机間指導

話し合う子どもの言葉に耳を傾ける。「どんな意見を出し合っているか」「どんな考えを持ったのか」などを丁寧に見取るとは、その後の展開に直結しています。





R6. 9. 13 3年生の5分休み

# 傾聴力

話している子供の輝く笑顔。先生が話を聴いてくれているうれしさがあふれています。子供たちは、話を聴いて欲しいので、たくさん聴いてあげてください。





R6. 9. 13 2年生学年研

# 体験を経験に

今日の授業の振り返りをする。担当教諭からのアドバイスを真剣に聴き取る。体験を経験に変えるための大切な時間です。次の実践に活かしていきましょう。





R6. 9. 17 3年生事後研

# 学び合う

学年授業研で参観した授業について、感想だけでなく、自分の意見を話す。しっかりと視点を持って、授業づくりを一緒にして、参観したからこそできること。





R6. 9. 17 1年生事後研

# アウトプット

事後研の中で、自分の意見を話す。インプットしたことをアウトプットすることで、自分の学びの質が高まります。積極的に発表していきましょう。





R6. 9. 17

2年生学年授業研

# 一人一人を大切にしている

ていねいに机間指導を行い、子供たちの側で作品を見取っていく。作品のよさを詳しく紹介できるのは、子供たち一人一人を大切にしている証拠です。





R6. 9. 17 3年生算数の授業

# 輝く主体性

予定の本実習4本の授業を終えて、さらにもう1本授業をやる。実習中にできることを精一杯やっておこうとする姿勢に、学びへの意欲が表れていました。





R6. 9. 17

3年生学年授業研

# Hop! Step! Jump!

観察実習から一生懸命に取り組んできた  
学びを生かして授業をする。子供の意見  
をもとに進める姿に、しっかりとした4  
週間の成長が感じられました。





R6. 9. 17 1年生の事後研での担当教員からの話

# 縦系と横系を紡ぐ

授業の中では学級経営の視点を持つことも大切です。縦系（教師と児童）と共に横系（児童同士）の関係も繋ぐ、ペアやグループの活動を考えていきましょう。





R6. 9. 17

1年生学年授業研

# ベストを尽くす

これまでの学びと学年の仲間と練ってきたことを生かして授業をする。今持っている力を思いっきり発揮することが、さらなる大きな学びに繋がります。





R6. 9. 18 5年生学年授業研

# 1, 2, 3, 4, GO!

観察実習のチャレンジ授業から数えて5回目の授業。ずっと重ねてきた経験こそが力になっているはずです。この道徳の教材と同じ、夢に向かってGOです！！





R6. 9. 18

3年生道徳

# 最後まで

本実習も残りわずかの中、最後までがんばり抜く姿に、できるだけ多くの得られるものを持って終えようとする思いが伝わってきます。





R6. 9. 18

4年生学年授業研事後研

# 切磋琢磨

仲間の授業をもとに意見を交換し合う。  
一緒に授業づくりに取り組んだからこそ  
言えることもある。お互いで磨き合いな  
がら伸びていけるのも実習のよさ。





R6. 9. 18 5年生学年授業事後研

# 子供の姿で語る

授業内容について、子供の発言を取り上げて意見を言う。授業で子供の様子を丁寧に見取っていたからこそできることです。授業で一番大切なのは子供です。





R6. 9. 18 5年生外国語

# 子供たちと創る

教師と子供たちとのやり取り。子供たち  
同士のやり取り。多くの対話を通しなが  
ら、授業の主役の子供たちと一緒に授業  
を創っていく。





R6. 9. 18

4年生学年授業研

# 事前準備

府内戦紙に関わる人の思いが分かる資料を準備しておく。メールでの回答が子供たちの理解を深めるために、効果的に働いていました。事前準備は重要です。





R6. 9. 18 6年生学年授業研

# 経験値獲得

外国語の学習で附属小が取り組んできた  
目的意識や相手意識を大切にした授業展  
開を身に付けている。短時間で、できるよ  
うになっている。大きな経験値獲得。



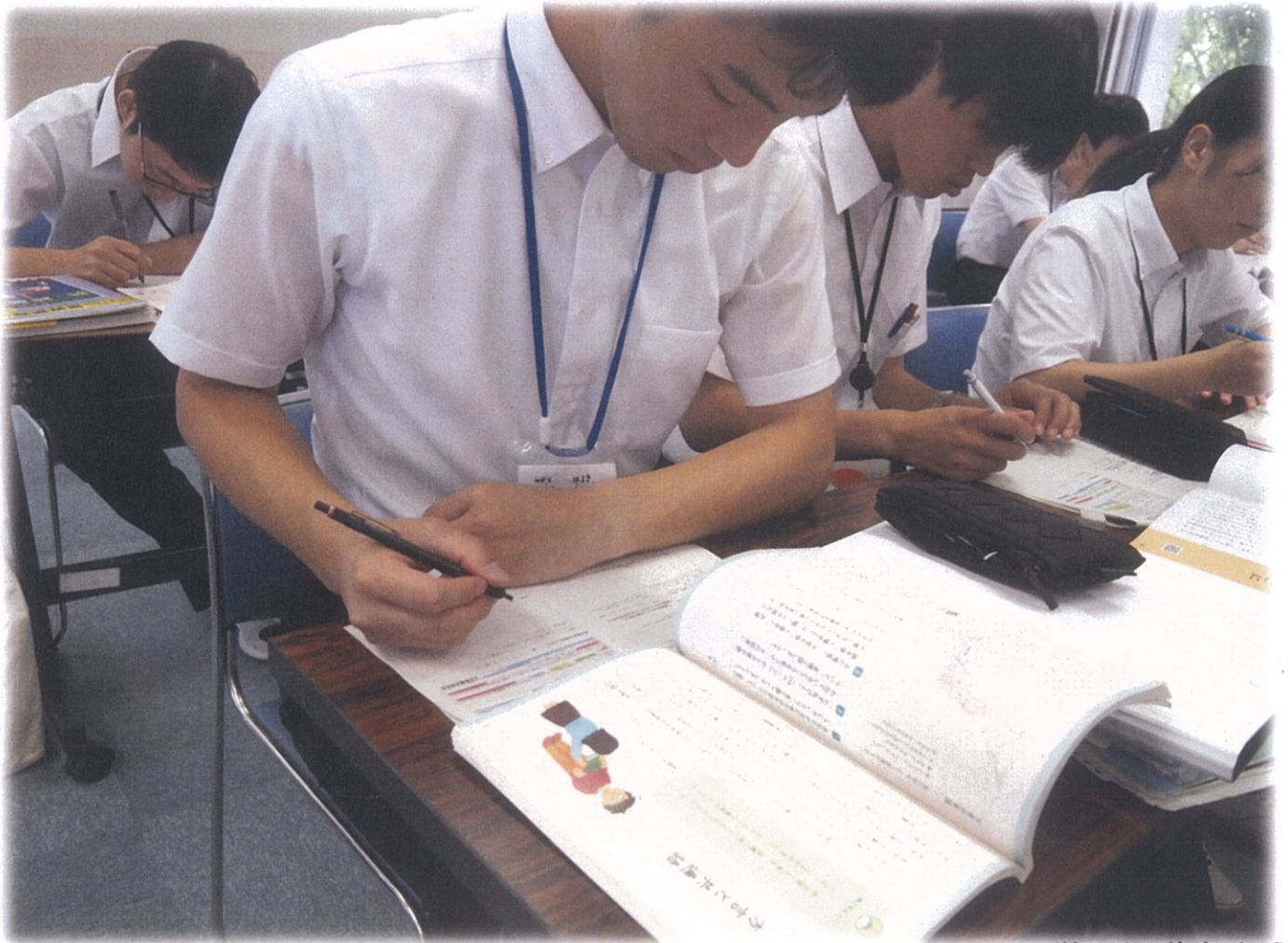


R6. 9. 19 6年生学年研

# 学級経営こそ大切

授業を下支えするのは、日々の学級経営です。各学級担任の先生が、どんな学級経営をしているのか聴くチャンスは少ない。ぜひ実習期間中に聴いておこう。





R6. 9. 19 学習指導案作成講習

# 指導案作成

学習指導案の「教材観」「児童観」「指導観」について書いてみる。板書指導案で授業をしたからこそ、違いを感じる事ができたと思います。





R6. 9. 19 2年生算数の授業

# 既習を生かして

どうすれば直角三角形について理解ができるのか？教具や発問を工夫しながら、既習の長方形や正方形を生かして考えることができるようにしていました。





R6. 9. 19

2年生算数の授業

# 全力授業

これまでの授業経験を生かし、子供の様子を確認したり子供の発言から授業を進めたりしてしていました。今、自分の持てる力を最大限発揮した全力の授業。





R6. 9. 19 2年生学年研

# 三つの取組

附小で子供たちががんばっている「三つの取組」。あいさつについて、自分の思いを語る。4週間、子供たちと一緒に過ごしてきたからこそ実感のある話。





R6. 9. 19 6年生外国語授業

# リベンジ

これまでの授業を振り返り、授業にもう一度取り組んでみる。最後まであきらめずチャレンジすることが、新たな学びを生み出していました。





R6. 9. 19 3年生学年研

# 先輩の声

担当学年の先生から、教員になった動機  
やいきさつ、教員生活の様子について話  
を聴く。教員の声を直接聴く機会は少な  
いので、とてもよい時間になってました。





R6. 9. 19 単元構想講座

# 意識改革

「教えることが楽しい」から「子供たちに考えさせることのおもしろさ」に気付く。子供たちと一緒に過ごした実習の経験を通した、大きな意識改革ですね。





R6. 9. 20 終末反省会

# これからが大切

個人目標シートや評価表、GPSシートを使って振り返ったことを残りの1年半に生かす。これからできることは何かを考えて、早速やっつけていこう。





R6. 9. 20 終末反省会

# ふりかえる

4週間の学びをふりかえる。様々な体験を経験から学びに。実習期間中の自分たちを見つめ直す。多くの成果・課題があり過ぎてまとめるのに困る程でした。





R6. 9. 20 終末反省会

# G P S

Good/Problem/Solutionシートを活用してまとめた4週間のふり返りを交流する。小学校教員として必要な資質・能力について、今の自分たちを見つめ直す。





R6. 9. 20 朝の様子

# 最後の朝に

教育実習最後の朝。視聴覚室に行く姿を見送っていました。子供の一緒にいる時間を少しでも長くしたいという気持ちが表われていました。4週間のつながり。





R6. 9. 17 2年生学年授業研

# Let's dance!

子供たちと一緒にになって運動会のダンスの練習をする。楽しく盛り上がっていました！実習の先生も子供たちもとっても笑顔がすてき！





R6. 9. 17 2年生学年授業研

# 感謝の心

子供たちと過ごす最後の時間。子供たちからのたくさんの感謝の言葉。これまで4週間、先生方が子供たちに愛情を持って関わってきたからです。